

R50-69S

タイミングギア選択

タイミングギアは+10から-10まで20通りの組み合わせがある。

クランクケース・ハンガー部左に打刻印がある。

打刻印解説

カムシャフトセンターからクランクシャフトセンターまでの距離は90.00mmが基準であるが製造上、偏差が発生するのは不可避である。

打刻印が「0」の場合は上記の芯間は90.00mmで「0」のギアセットを組み込めばギアの適正クリアランス0.05mmが得られる。

例としてケース打刻印「+3」の場合、芯間は90.03mmとなり適正ギアセットは「+3」となる。

「-5」の場合は89.95mmとなり適正ギアは「-5」を選択する。

ギアセットはカムシャフト用アルミギアとクランクシャフト用スチールギアのセットで加工されているので交換はセットで行うことが重要である。

適正クリアランスが得られていないとベアリング破損、異音発生などからギア摩滅、欠損になり重大なエンジン故障に発展する。



「-2」



「+2」

Spezialist fur EDEL BOXER in Chiba seit 1997

HOME PAGE = <http://www013.upp.so-net.ne.jp/CRIMECA/index.htm>